

学 年	4年	教科・領域	学級活動	副読本P	P36・37
第4章4			家族防災会議を開こう		

仙台市立東四郎丸小学校 4 学年

「家族防災会議を開こう」

○ねらい

日頃から災害発生時の対応や連絡方法などを家族と話し合い、もしもの場合に備えておくことで、防災意識を高める。

学習活動及び発問	予想される児童の反応	指導上の留意点
<p>1 避難訓練を振り返る。</p> <p>今日の訓練は、避難の約束などを守って真剣に取り組むことができましたか？</p>	<ul style="list-style-type: none"> あわてないで先生の指示を聞いて動きました。 避難したあともすぐに整列して次の指示を待てました。 	<ul style="list-style-type: none"> ◇ 児童から意見を出させる中で、学校での避難のしかたや避難時の約束などを確認させる。
<p>2 学習課題を知る。</p> <p>大きな地震が起きたとき、家族はどこに誰といるか分かりません。電話もつながらなくなります。</p> <p>【学習課題】家族が別々に被災したときに、どうやって連絡を取り合ったらいいか考えよう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 家に一人にいるときに地震が起きたらどうしよう。 停電になったら電話はたしかにつながらない…。 どこに避難したら家族と会えるかなあ…。 	<ul style="list-style-type: none"> ◇ 非常災害発生時、情報伝達手段が限られることをおさえさせる。 ◇ 児童が一人で被災した場合にも、家族と出会うようにするには日頃から防災について家族と話し合うことの重要性に気付かせるようにする。
<p>3 家族で話し合う内容を考える。</p> <p>どんなことを日頃から家族と話し合っておく必要があるのでしょうか？</p>	<ul style="list-style-type: none"> どこに避難するかを話し合うといいと思います。 もしもの時は、お互いに近所の人とお願いし合う。 指定避難所を家族と一緒に確認する。 	<ul style="list-style-type: none"> ◇ 副読本P 36～37を読み、①連絡先をいくつか決めておくこと、②地域の指定避難所など家族みんなが避難する場所を決めておくこと、を確認する。
<p>4 本時の学習を振り返る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ワークシートなどに、今日の授業の感想を書く。 	<ul style="list-style-type: none"> ◇ 子ども防災マニュアルを活用して、家族で子ども防災マニュアルの「もしもの時に備えて」を確認するよう指示する。 ◇ 家族で災害時の役割分担なども事前に決めておくようにするといいことも児童に説明する ◇ 本時で分かったことや考えたこと等を書かせる。